

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0086
施設名	おともだち保育園
施設所在地	世田谷区下馬2-21-11
法人名	社会福祉法人日本フレンズ奉仕団

1. 活動のテーマ

<テーマ>

色と光、形

<テーマの設定理由>

赤・青・黄の3色を混ぜ合わせ、たくさんの色を作る中で、赤と青を混ぜると紫になることなどを子どもたちが発見しました。そこで、色水の遊び方を様々に工夫することで、子どもの興味・関心がどのように広がっていくか、どのような視点での気付きがあるか、子ども達と共に探求していきたいと考えたため、テーマを設定しました。

2. 活動スケジュール

- ①7月：色水を凍らせてみる
- ②8月：色水を窓際に吊るす
- ③9月：色水を自然光（夕日の光）や人工の光に照らす
- ④10月：絵の具での色作り
- ⑤11月：色と形の表現

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ①水性ペン、水、製氷器、プラスチック透明カップ、洗面器、白い紙／環境設定：テラスや芝の広場など場所を変え、色のついた氷の観察をし触って遊ぶ
- ②傘袋、袋状のビニールシート／環境設定：一定期間、同じ場所に吊るし子どもの気づきを記録する
- ③ペットボトル(色水)、ライトテーブル、イロイロモザイク／環境設定：一定期間同じ場所に色水のボトルを置く、ライトテーブルも常設する。
- ④絵の具、筆、パレット、画用紙などの紙
- ⑤大きな紙、のり、両面テープ／壁一面に大きな紙を設定し、自由に形作れるようにする

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ①凍らせた色水で遊ぶ
- ②窓際に吊るされた色水の観察
- ③色水を自然光（夕日の光）や人工の光に照らして遊ぶ
- ④自然物での色水あそび、絵の具あそび
- ⑤色と形での表現あそび

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ①使えなくなった水性ペンを水につけたら色水になることを発見
 - ・色水を凍らせてみた 太陽の光にかざしてみたら「とてもキレイ！」 「キラキラしていて、冷たくて気持ちいいね」
- ②つるして光が当たると、影に色がついていることを発見。
- ③夕日の光は、時間が流れるとき色の影が動いていくことの気付き。子どもたちは、光の遊びにも夢中になり、色と光の関係性の探求
- ④朝顔しおれた花をもらって色水作り。色の濃淡、赤っぽい、青っぽい……ひとつひとつがみんな違う
 - 赤・青・黄・白の4色を混ぜ合わせて、たくさんの色を作った始めは好きなように混ぜ、濁った色がたくさんできてしまったが、少しずつ、きれいな、鮮やかな色を作るようになる。
- ⑤たくさん色を作りできた色を壁に貼ってみる。「アンモナイトみたい」「きょうりゅうみたい」「クレーンしゃみたい」など、色と形に目を向けていった。
 - 色と形で表現した、その色と形から想像を膨らませたお話作り…月・星・飛行機 空に伸びていくタワー等々



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子ども達の興味・関心の色を軸に、光や形との関係性をどのように捉えるかを探求していく。興味・関心のあることに対して子ども達の向かう姿が違い、夢中になり集中して取り組む様子や、その空間に物語を生み出していく子どもの力を感じられた。

また、継続することで違いや変化などに対する気付きが多く、環境を考え整えること、その空間と時間をどのように保っていくか、又は、少し変化を付けていくのか子どもの姿を十分に考察し、繰り返し環境設定をしていくことの大切さが分かった。

今後も子どもの姿や気付きから対話をし、子ども達の探求を支えていきたい。